

[ロシア09](#) から

最新の情報は、[ロシア](#) へ

- [111225 ロシアで抗議集会再び モスクワの参加者、前回超える](#) [朝日]
- [110125 モスクワの空港で爆弾テロ 35人死亡、126人けが](#) [朝日]
- [0329 モスクワ地下鉄爆破、テロと断定 2駅で死者38人](#) [朝日]

## 111225 ロシアで抗議集会再び モスクワの参加者、前回超える [朝日]

ロシア下院選での不正疑惑を発端に、政権への不満を表明する2度目の大規模な集会が24日、モスクワ中心部で開かれた。「プーチン首相は退陣を」とのシュプレヒコールも起きた。都市部の中流層を中心に、市民は抗議の声をあげ続けている。

1991年のソ連崩壊後で最大規模といわれた10日の抗議集会に続いて野党勢力が主催し、当局が許可した。参加者は警察発表では最大3万人と、前回の2万5千人を超えた。主催者側は12万人としている。

与党「統一ロシア」の選挙戦を率いたメドベージェフ大統領は選挙改革に着手し始めたが、不十分だと見る市民が多いようだ。来春の大統領選で復帰を狙うプーチン首相の選挙戦への影響は確実だとみられる。

## 110125 モスクワの空港で爆弾テロ 35人死亡、126人けが [朝日]

【モスクワ = 星井麻紀】モスクワ南部郊外にあるロシア最大の空港、ドモジエドボ空港の国際線ターミナルで24日午後4時半（日本時間同午後10時半）ごろ、爆発があった。ロシア捜査委員会によると少なくとも35人が死亡、126人が負傷した。同委員会はテロと断定し、捜査を開始した。

インタファクス通信などによると、爆発は大勢で混雑していた到着ロビーの出迎えの人垣の中で発生。自爆テロと見られ、爆発物の威力はTNT火薬換算で約7キロという。イタル・タス通信によると、爆発は2度あったとの証言もある。

AFP通信によると、空港のインフォメーションセンターに居た男性は「人が燃えながら走っていた。何かとんでもないことが起きていた」と地元ラジオ局に語った。また、別の乗客は「ストレッチャーで運ばれている、けがをして血を流している人を見た」と話した。

治安当局は、テロ犯はロシア南部北カフカスの地下組織に所属している可能性を指摘。現場付近にいた不審な男性3人の行方を追っているという。ロシアのメドベージェフ大統領は24日、「自爆テロ組織を追跡し、処分する」との決意を表明。同大統領はまた、自身のツイッターで「主

要なハブ空港ではセキュリティーを強化する」と宣言した。

モスクワではロシアからの分離独立を求める北カフカスの武装勢力によるとみられるテロが散発。昨年3月、地下鉄パルク・クリトゥールイ駅とルビャンカ駅で起きた連続自爆テロでは、北カフカスを拠点とする武装勢力が犯行声明を出している。

同空港はモスクワの南約35キロにある国際空港で、去年は2230万人が利用した。在ロシア日本大使館によると、事件に邦人が巻き込まれたとの情報はないという。

## 0329 モスクワ地下鉄爆破、テロと断定 2駅で死者38人 [朝日]

【モスクワ＝星井麻紀】モスクワ中心部の地下鉄で29日に起きた爆発は、計2カ所の駅で連続して発生、ロシア緊急事態省などによると、38人が死亡、70人以上が負傷した。検察当局はテロ事件として捜査を開始した。モスクワの地下鉄でテロが起きたのは41人の犠牲者が出た2004年2月以来。ボルトニコフ連邦保安局（FSB）長官は、メドベージェフ大統領に「北カフカス地域につながるのある女性の自爆テロ」と報告した。

爆発は週明けのラッシュアワーを直撃し、交通が遮断されるなど大混乱した。在モスクワ日本大使館によると、同日昼過ぎ現在で、日本人が事件に巻き込まれたという連絡はないという。

緊急事態省などによると、最初の爆発は午前8時前、赤の広場や官庁街に近いルビャンカ駅で起きた。停車中の車両の前から2両目の車内で爆発し、少なくとも付近にいた24人が死亡、約20人が負傷した。その約30分後、同駅から4駅離れた同じ路線のパルク・クリトゥールイ駅でも、同様に前から3両目の車両で爆発。少なくとも12人が死亡、約15人が負傷した。

ロシア検察は、TNT爆薬換算でルビャンカでは4キロ、パルク・クリトゥールイでは1.5キロから2キロのプラスチック爆弾が使用された可能性があると発表した。駅に設置されたビデオカメラに、不審な女性2人の姿が映っていたという。さらに、この2人に付きそう女性も2人いたとの情報もあり、捜査している。

ルビャンカ駅の前には、FSB本部の建物がある。FSBはソ連国家保安委員会（KGB）が前身で武装独立勢力によるテロが続くロシア南部北カフカス地域で掃討作戦を続けており、今月、イングーシ共和国で武装勢力の指導者らを殺害したと発表していた。

メドベージェフ大統領は29日、「テロリストに対する作戦は最後まで揺るぎなく続く」と話し、治安機関に徹底的な捜査を指示した。

爆発時、現場付近は両駅とも多数の通勤客で混雑していた。爆発でモスクワ市中心部は通行止めになり、地下鉄も数時間にわたって停止した。携帯電話網も一時的に不通となった。地下鉄はモスクワ市民の重要な足で、各駅の周辺は職場に向かう人たちがバスなど別の交通手段を求めてあふれかえった。